

佐保会静岡支部だより

平成 29 年 2 月 23 日

◆支部長挨拶 ～～～ 城は人—佐保城 静岡 ～～～

佐保会静岡の皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと存じます。本年の干支は、十干が「丁(ひのと)」十二支が「酉(とり)」で、「丁酉」に当たるそうです。昇る太陽に刻の声を上げ、雛を守り慎重に時が熟すのを待ち、運気をとらえて積極的に打って出る姿は、折しも静岡を舞台とした大河ドラマ「おんな城主 井伊直虎」の姿を彷彿とさせます。

さて、会員・地区役員・支部役員の多大な尽力・協力のおかげで、H27・28 年度と支部長を務めさせていただき厚く御礼申し上げます。任期中に気付いたことを、以下に述べさせていただきます。

1. 奈良女大学社会教育センターとの共催で、一般参加も呼び掛け、第1回講演会を開催しました。任期中1回は開催し、大学との連携・宣伝に寄与することを提案します。
2. 佐保会総会の報告書を HP に掲載しましたが、代議員の方は可能な限り代議員総会に出席し、大学・佐保会同窓会・他県の支部の活動状況を把握していただきたい。
3. 地区会を秋に開催すれば、「佐保会静岡支部だより」への寄稿が円滑になるでしょう。
4. 年会費のコンビニ払いは支部では出来ないの、引き続き本部に働きかけていく必要があります。

2017 年は「流動的で予見不能」な年になりそうです。米国では自国第一主義のトランプ大統領が連日物議をかもし、英国は EU 離脱の道を選択。仏国は大統領選が、独国では連邦議会選挙が予定されています。中国とは尖閣領有問題・領海問題。朝鮮半島も、中東と同様不安定度を増しています。ロシアは虎視眈々と各国の動きをうかがっています。Brexit' とヒラリー氏の敗北は、メディアの予想を覆すもので、世界をおおっている閉塞感とポピュリズムの序曲のように思われます。

国内では強行採決が続き、「テロ等準備罪」法案が提出されようとしています。トランプ氏の名指し非難を受け、政治・経済・軍事面で戦々恐々の感があります。しかし、世界で唯一の被爆国日本の取るべき道は憲法にある平和三原則にのっとり、平和的・人道的国際貢献を果たすことでしょう。

1993 年に文部省英語担当教員海外派遣米国研修の一環として、オクラホマ市内の高校で教鞭を執りました。日本語・日本文化の授業を楽しく終えた時、「原爆投下に関する日本人の正直な気持ちを話してほしい」と依頼されました。資料は送ってありましたので、勇気をもって引き受けました。入念な下調べと、ホストファミリー相手にリハーサルもして、翌日決死の覚悟で授業に臨みました。生徒の反応は好意的で、他の先生方にも次々に請われて結局 6 時間連続で授業をすることになり、被爆国日本の思いを伝えることができました。当時のことを想うと、昨年のおバマ大統領の広島訪問には感慨深いものがありました。

社会や地域で活躍の場があるのは、72 年間続く平和な暮らしがあるからです。情報分析・直観・判断力を駆使してネットワークを築き、精神的に支え合い、*「待っていても社会は変わらない」なら「女性たち自身が動くことも」必要でしょう。 (*竹中三恵子氏より引用)

奈良女子大学は「日本一の女子大」を目標に掲げ、その存在を発信すべく、国内外の女子大との連携、共同プロジェクトを立ち上げています。その同窓会「佐保城」は、日本各地で多くの分野において活躍・貢献している卒業生が、100 余年にわたり築いてきた堅固な石垣の上に存在しています。今後も会員の方々が公私にわたり連携・連帯を深め、佐保会静岡がますます発展することを祈念しております。

(平成 28 年度支部長 山本志保美)



©浜松市

◆平成 27 年度会計報告～～～支部長：山本志保美 会計：小嶋妙子（平成 28 年 6 月 5 日）

収入の部

総収入	514,371 円
総支出	321,024 円
差引残高	193,347 円

〈内訳〉

収入の部

前年度繰り越し金	170,574 円
本部会費(112 名)	168,000 円
支部会費(128 名)	128,500 円
支部補助金	47,260 円
利子	37 円
合計	514,371 円

支出の部

本部会費	168,000 円 (112 名分)
支部総会費	53,782 円 (葉書、会場費、講師謝礼)
地区活動費	29,000 円 (東部、中部、西部各地区)
通信費	33,644 円 (会報発送費、切手代)
事務費	20,438 円 (印刷代、封筒・ラベル代)
支部長費	3,000 円
事務局費	3,000 円
支部長交通費	10,160 円 (本部総会)
合計	321,024 円

差し引き残高193,347 円は次年度に繰り越します。

▼平成 28 年度「地区役員」 ～～ありがとうございました～～

東部地区幹事：大木峰子 (S61 家生) 大嶽真理子 (S56 家食)
 中部地区幹事：小田巻静江 (S51 理物) 中村里美 (S60 理物)
 西部地区幹事：求 順子 (S55 理数) 馬渕京子 (S56 文英) (敬称略)

◆支部総会報告 ～～～城下町掛川を訪ねる～～～

平成 28 年 6 月 5 日 (日)



掛川城 “天守閣”を背にして

今年度の支部総会は、戦国武将山内一豊と妻千代が築いた城下町掛川で開催されました。掛川城のもと「時之栖こだわりっば」を会場に、20 名の同窓生が集いました。入梅間近の 6 月初めの頃は、城下を流れる逆川土手に群生するユリが満開で、可憐に咲く色とりどりのユリの花を愛でながら、楽しいひとときを過ごし旧交を温めました。

総会では昨年度の事業・会計・地区報告の後、28 年度役員 の紹介と事業案が提示されました。また、静岡支部ホームページを担当してくださる松本眞由美さん (S56 理物) から、運営の現状とメーリングリストへの登録勧誘のお話がありました。

昼食会では、昭和卒から平成卒まで年代の違う同窓生の皆さんからの近況報告があり、ご自分の持ち味を発揮して活躍されているお話に、大いに刺激を受けました。同窓生の皆さんののはつらつとしたお姿に今回も元気をいただきました。

城下町掛川には、天守閣を中心にして付近に昔の面影を残す建物がいくつも残されています。JR の車窓から眺めていた天守閣に登り、最上層から市街を見渡して殿様気分浸ったり、幕末再建という二の丸御殿で往時の掛川藩に思いを馳せたりしました。また、豪商の旧宅「竹の丸」にも足を伸ばして、葛布問屋の隆盛を垣間見ることができました。掛川の隠れた良さを発見する 1 日となりました。ありがとうございました。



“こだわりっば”にて

(※ホームページにも、当日の写真が掲載されています。併せてご覧ください。 <https://sahokaishizuoka.jimdo.com/>)

●東部地区会報告 (地区幹事 大木、大嶽) ～～～狩野川のほとりに集う～～～

平成 28 年 10 月 15 日（土）、狩野川のほとり美食倶楽部「蓮」に於いて開催しました。雲一つない秋晴れのもと 6 名の会員が集い、旬の食材を使った食事を楽しみました。参加された 90 歳になられる大先輩の生き生きとしたお姿やお話には、参加者全員が「将来はかくありたい」と感銘を受けました。集まった方々の意外なつながりに話が盛り上がり、にぎやかな地区会となりました。

当日は会場のある「あげつち商店街」で月に一度の稲荷市が開催されており、時間にゆとりのある方には買い物も楽しんでいただきました。



狩野川のほとりにて

●中部地区会報告（地区幹事 小田巻、中村） ～～～女性の活躍を語る～～～

平成 28 年 11 月 13 日（日）、静岡県教育会館において 9 名の参加で開催しました。

午前中は昼食をいただきながら懇談と近況報告をしました。現代女性の意識改革が遅れているのではないか、女性活躍を唱えながらも女性が活躍できる環境が整っていない、これを何とかしなければ…など熱い想いがほとぼしる時間でした。特に「リーダーとは、様々な文化と折り合いをつけられる知恵のある人」という言葉が印象に残りました。

午後は、タクシーを利用して「ふじのくに地球環境史ミュージアム」へ。このミュージアムは、今までの博物館の「見る展示・触る展示」から「考える展示」への進化を試みています。あえて展示品の解説文を減らして、館内のスタッフやサポーターが来館者と会話しながら、展示品の解説を行っています。

当日はミュージアムサポーターの渡辺さんが玄関で迎えてくださり、1 時間半という短い時間の中、私たちに多くのことを伝えようという熱い想いが溢れるのを感じました。最後の 20 分は、11 月のテーマ「ミツバチ」の地球会議に参加して、「地球と自然環境を守りながら人間が豊かに暮らすには？」について考えさせられました。実に有意義な 1 日となりました。



●西部地区会報告（地区幹事 求、馬淵） ～～～講演「おんな城主井伊直虎一代記」～～～



平成 28 年 11 月 27 日（日）、浜松市内の「コミュニティカフェ Pao」で開催しました。参加者は 16 名で、浜松歴女探検隊・武藤美知江氏の講演を聞き、ケータリングによる有機野菜を使ったお食事をしながら懇談しました。地区会終了後、有志の皆さんで浜松市美術館の「女性を描く ― クールベ・ルノアールからマティスまで」を見学しました。

講演会では、井伊直虎の生涯を大河ドラマ撮影時のエピソードや時代背景を交えながら生き生きとお話していただき、間近で演劇を見ているかのように講演に引き込まれていきました。井伊直虎ガイドや直虎双六などの浜松歴女探検隊グッズを購入したり、講師の武藤氏に質問したりと会は盛り上がりました。



◎浜松市



参加された皆さんの近況報告では、生き生きと年を重ねるための秘訣や、奈良で過ごした思い出話、奈良の最新情報などを伺いました。先輩の方々のお話に 10 年後・20 年後を思い描き、子育てと仕事が現在進行中の若い方の頑張りに励まされました。奈良女子大学の同窓生という世代を超えたとても贅沢なつながりに感謝する一日でした。

▼同窓生の「活躍」や「異動」をお知らせください

情報化とまではいきませんが、支部便りに掲載しきれない記事を、ホームページを利用して掲載しています。地区会の様子・同窓生が載った新聞記事などをお知らせください。また、以下のアドレスにアクセスすると、メーリングリストへの登録も可能になり、佐保会静岡支部からの情報提供を受けることができます。

佐保会静岡支部のホームページ：<https://sahokaishizuoka.jimdo.com/>

住所変更や改姓等が生じた場合も、上記のアドレスまたは山本志保美支部長（053-456-4315）まで御連絡いただけますと助かります。

▼平成 29 年度「静岡支部新役員」 ～～2 年間よろしくお祈いします～～

支部長：吉原崇恵（S43 家修）
書記：竹内礼子（S49 家住）
会計：瀧浪則子（S49 理生）（敬称略）

▼平成 29 年度「地区新役員」 ～～1 年間よろしくお祈いします～～

東部地区幹事：大嶽真理子（S56 家食） 大久保あかね（S62 文体）
中部地区幹事：中村里美（S60 理物） 澤渡千枝（S57 家博）
西部地区幹事：馬渕京子（S56 文英） 中島雅美子（S57 文英）（敬称略）

▼H28 年度会費未納の方へ（お祈い）

「振込用紙」を同封させていただきました。郵便局で振り込みができます。窓口だけでなく ATM でも振り込み可能です。期限は **3 月 31 日(金)**とさせていただきます。今年度会費を納入して下さった会員は、100 名(総会員数 420 名余)にとどまっています。各地区の活動も資金不足が目下の課題です。同窓会活動を円滑に行うことができますよう、皆様の御協力をお願いいたします。

★会費 2,500 円（本部会費 1,500 円, 支部会費 1,000 円）

☆郵便振込 口座番号 00860-2-18252 奈良女子大学同窓会佐保会静岡支部

※卒業年を御記入下さい。(昭和/平成○年卒業)

※本部会費は S34 年卒までと H25 年卒以降の方は不要です。

会計担当:小嶋 妙子(0537-22-2376)



佐保会徽章